しい」と福嶋さんが5月市に保護樹指定の申請をられる予定で、福嶋さん

（上杉順子）

米国の男性

日章旗知る人捜しています

硫黄島と神戸に関係？

旧日本兵の体験を記録している米国人男性が、太平洋戦争の激戦地、硫黄島から米兵が持ち帰ったとみられる日章旗にゆかりのある人を捜している。米国内で入手したといい、本人の名前や湊川神社（神戸市中央区）の押印から、県内に関係がある人の可能性がある。男性は「持ち主や家族にとって大切なもの。自分の手で返したい」と話している。

米国カリフォルニア州在住のダニエル・キングさん(45)。日本の自動車メーカーに15年間勤務した際、戦争経験者の話に興味を持った。今は映画の歴史アドバイザーをしながら度々来日、元兵士から体験を聞き取っている。全国53人に取材し、100人になれば米国で出版するという。

日章旗は約20年前、地元であった収集家の品評会で購入した。「祈武運長久」「奥野繁造君」と書かれ、50人以上が寄せ書きしている。旗の隅には米軍のタグが付けられ、硫黄島の上陸部隊の名があったという。

神戸市の老舗菓子店のブリキ箱に入れられ、飛行機を背後に撮影した日本兵の写真や、硫黄島の写真も同封されていた。だが、持ち帰られた経緯などは分かっていない。

キングさんは今年6月に来日した際、「十七歳の硫黄島」の著者で同島の戦いを経験した秋草鶴次さん(82)＝栃木県足利市＝に相談。協力を求めたが、今のところ手掛かりはないという。

キングさんは「この日章旗を持って戦地に行った福島県出入り傷をふと助言うモルし功した目立た現在でほなって

米国人男性が保管する寄せ書きされた日章旗

れた讃岐丸やミクロネシアへ赴いた笹崎丸の航行記録や船舶責任者などが記された「戦時日誌」、ニューギニア作戦などの戦闘経過を記した「戦闘詳報」、沈没船の船舶事故報告・調査書など。方南

（1面参照）

和を願い、語り継ぐ各地介する。

提供は秋草さん☎4・71・3515

（井関徹）

戦時中の資料28点を展示

豊岡で「戦争展」

太平洋戦争中の新聞や国民の暮らしぶりを伝える写真などを集めた「語りつごう戦争展」が、豊岡市但東町正法寺、シルク温泉やまびこで開かれている。

同温泉が、親子連れが多く訪れる夏休みに「戦争について、親子で考えてもらう機会に」と企画した。戦時中の資料や書籍を集めている神戸市の男性から借受けた28点を展示している。

太平洋戦争開戦や終戦を伝える新聞、米兵上陸を想定して竹やり訓練に励む女性らの写真をはじめ、召集令状（赤紙）や購入通帳票、軍事を美化した子ども向けのかるたなども紹介している。

31日まで。午前6時から午後10時。無料。シルク温泉やまびこ☎

（鹿野俊）

約90点を

遊&あそぶ
イベント
ご不要な貴金属（記念品）リング・